

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月

学校法人もっこく学園

認定こども園 さつきが丘幼稚園

1. 本園の教育目標

『子ども・保護者・教師ともに学びあえる楽しい幼稚園』

個々の特性をいかし、心身ともに健やかで調和のとれた感性豊かな子どもの育成。

- ・丈夫なからだ、元気でよく遊ぶ子。 ・自分で考え、あきらめずにやろうとする子。
- ・よく聞き、よく見て、よく感じる子。 ・思いやりと、感謝の気持ちがもてる子。
- ・みんなと力を合わせてする喜びがわかる子。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

個々の幼児に必要な援助を探り、教育内容および指導の工夫や質の向上に努める。

見通しをもったクラス運営をする中で、発達に応じた育ちの支援をしていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	達成及び取り組み状況
○教育・保育の計画性 教育課程・教育方針 教育目標・指導計画 環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを十分確保する時間を中心に、他の活動など全体的見直しを行ってきたが今後も必要。 ・学期毎に子どもの姿を捉えて、次の学期に必要な指導や援助を考えていくようにした。 ・一斉活動と自由遊び（好きな遊びをする時間）のバランスを考えながら実践していった。 ・運動会は全学年一緒に行った。また、保護者の手伝いなく教職員のみで進行できた。 ・長時間園で過ごす子等在園時間が皆違うため、子どもが安心して過ごせるように、チームとしての連携や意思の疎通をとるようにした。
○教育・保育のあり方 幼児理解・指導 安全・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で明るく接し、言葉遣いや幼児理解を丁寧に行うように努めた。 ・年齢に合った子ども理解をしたものの、目標を高くもってしまった部分もあった。 ・体調管理では悪化する前に気づいて早めに対応できた。保護者に健康管理情報を的確に伝え協力していただけるように努めた。 ・子どもの怪我（骨折）の報告の方法に誤りがあった。必ず保護者（父母）に説明することを怠ることのないようにする。 ・他害等の危険や周囲に影響を与えるような行為に対して、適切な言葉使いや対応に悩んだり反省があった。受けた子のケアも行った。 ・生活習慣が身につくように、繰り返し行う事の大切さを伝えながら続けた。
○教師としてのあり方 組織・役割 資質・適正 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の経験や年齢差による保育感の違いを理解し、コミュニケーションを密にすることによって教育効果が得られるようにした。一方個別にコミュニケーション不足の問題点もみられた。 ・教職員間での対話の機会が足りないところがあったため、毎日集まりの時間を設けてカンファレンスを行い解決に向かうようにした。
○保護者への対応 情報発信・対応・苦情相談	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して子どもを預けられるよう、いつも明るく笑顔で接し信頼関係が築けるよう心がけた。また、疑問や相談に対してはすぐに対応できるようにした。 ・面談や相談等の対応を担任だけでなく、状況に応じて上司も同席して対応した。 ・保護者が安心して預けられるように、子どもの良さや園での様子を伝えるように心がけた。

○地域との関わり 自然・社会 子育て支援・開放 幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育を通じて自然環境を十分利用したり、活かして遊ぶことができた。また地域の方には積極的に挨拶をするようにした。 ・未就園児子育て支援に於いて、参加者と交流を持ったり相談や情報提供をした。 ・小学校との交流の機会があったことにより、子ども達の刺激や就学の期待感にもなった。
○研修・研究 意欲・態度 専門性	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に研修に参加した。キャリアアップ研修の参加は順調に行われた。 ・園内研修の機会や内容をより充実したほうがよい。 ・要支援児への対応の研修の機会がもっとあってもよかった。 ・外部研修では他園の先生との交流や情報交換は貴重であった。

4. 総合的な評価結果

教職員は本園の経営理念や教育方針をおおむね理解し実践している。教育計画の立案の際は、入園までの子どもの姿にも着目して計画を立案していくようにしたほうがよい。

入園前の遊びや経験不足により、入園後の子どもの姿に個人差が大きく、担任以外の補助保育教諭の援助が必要な子どもが目立つ。一人ひとりの子どもに対応するための時間がかかっている。そのため、教職員間での共通理解や全体で見守る意識を高めていくようにしてきた。個々の教員の保育感の違いはあるものだが、よく考えを擦り合わせて目標に向かう方向性をしっかり捉えて行かなければならない。また、今後の課題として、子ども自身が主体性のある遊びを充実させていくための、『自由遊び(好きな遊びをする)』ことに大きな目標を置き、経験者の意見を参考にし実践に繋げていきたい。

教師の教育力についても自信を持って教育保育することが望まれるが、要支援児や個別指導の必要な幼児の指導に対する不安感も多く悩みに発展している。他の教職員との連携やシュミレーションの重要性を再認識した。発達支援機関との連携については課題点があるので、今後も関係施設と検討を重ねたい。また、責任を持って取り組んだが、教師としてのあり方の適正、家庭との両立など改めて考えていくことなど個々の悩みもあった。

保護者対応についても、登降園時に直接関われる保護者が限られているため、必要な場合はなるべく迅速に情報提供をするように心がけた。連絡、配布物忘れの際は確認報告を行い確実にいえるように改善した。連絡なく登園していない子には必ず家庭に連絡を入れるようにした。園の様子は『わんぱくつうしん』や動画で配信してきたが、十分ではなくなるべく多く提供したい。

地域とのかかわりについては、小学校との連携が定着してきて良かった。園外保育やマラソン等園外に行く機会には教職員が積極的に挨拶をしたり交通安全指導や、社会性を身につけるためのマナーを伝えた。園庭開放や子育て支援のルーム開放など、近隣や外部の親子の参加や育児相談の場として提供できた。

教職員は積極的に研修を受ける態度が見られた。向上心を持って専門分野の知識の探求がなされている。今後も教師間でお互いに刺激し合えるようにしたい。

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	教育課程、教育指導計画の見直し 教育指導5カ年計画プロジェクト	入園から卒園までの望ましい子どもの姿を捉えた教育計画の策定をする。 (主体的な遊びの時間を十分確保するプログラム。) プロジェクト2年目として、幼児の態度や行動に着目し重点をよく捉えて計画を立てる。
2	幼児自身が自分の思いを言葉や態度で表現する。	一人ひとりが安心して心を開き、言葉や態度で表現し高めていける環境作りや援助。教師が余裕を持って、子どもと丁寧にかかわる。

	自分で考えて主体的に行動する子どもを育てる。 異年齢の交流を活発に行う。	自ら考えて喜んで行動する力を育てる援助。子どもが達成感を味わい、自信を持って生活していけるようにする。保護者へのアプローチや、一緒に考え協力を得られるようにする。 普段の遊びや生活の中で、自然に交流できる環境や援助をする。
3	教職員間の連携	世代間ギャップを理解しつつも、課題に向けて思いや保育感を伝え合い、共通理解のもとで進めていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

保護者アンケートについては、91%の回答をいただきました。本園の教育方針や教育活動にご理解いただいていると評価いたしました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。1学期、2学期と各クラスの連絡係サポーターの皆様とミーティングを行ってまいりました。3学期は1年間のまとめとしてサポーターの皆様には、学校評価委員としてご意見を伺いました。

- ・運動会は10月中旬に行われたにもかかわらず、晴天で気温も高く午前中で終了するものの観覧席は直射日光を遮るものがないため、乳幼児や祖父母のための一時休憩室を保育室などに用意してもらいたい。
- ・色々な行事は保護者は楽しみにしている。園での子どもの様子や成長は、運動会や生活発表会、作品展等大きな行事を通して感じ取ることができる。今年度は運動会を全学年一緒に出来て良かった。作品展も学年毎の成長や担任の先生と話す時間を割り振ってあったので、話が出来て良かった。マラソン大会も全園児が応援し合い、皆最後まで頑張っていた。
- ・保護者の中から「1年中半袖・半ズボンで過ごしているが、半袖の下から下着が出ている姿はどうなのか。冬は長袖長ズボンがあったほうがよい。」というご意見があったため、サポーターの皆様のご意見を伺ったところ、半袖でよいのではないかと。下着と言うよりアンダーウェアも子ども用がある。長袖長ズボンはいらぬとの意見が全員よりあった。
- ・気候変動により行事の開催時期がずれてきた。そのため、生活発表会や作品展の時期もずれてきており、作品展を止めようかどうか検討していること伝えたところ、続けていただきたいとの意見が大いにあった。

〈園からのコメント〉

- ・1年間行事に振り回されることのないように、教育内容を検討していこうと考えている。行事の計画を練り直す事も考えているが、大きな行事は続けて欲しいとの要望も多く、今後内容を含めよく検討していきたい。
- ・長袖・長ズボンについては、冬期は寒ければスモックやトレーナーを着用してよいので、調節していただきたい。
- ・夏期に弁当を保温調節庫に入れると、冷めたいご飯を食べないのご意見について、は個別に対応するようにしたい。(冷やさずに個人で保冷剤を入れてきてもらう等)
- ・行事等にはこれまでサポーターさんにご協力いただいてきましたが、今年度の運動会では保護者の手伝いはなくして、教職員だけで進めることが出来た。今後もなるべく保護者の負担のないよう最小限に考えていきたい。
- ・満3歳児は誕生日からの入園のため、4月当初に入園児と保護者に集まっていただき、担任の紹介等をしたり入園に向けて安心して準備ができるように伝達等していきたい。
- ・こども園では園児の一日の在園時間はまちまちであり、長時間預かりの子どもも多くいるため、個別対応や保護者への連絡、教職員間の連携が不十分であったところもあり、各担当がしっかりして行い、安心して預けられる施設として機能できるようにしたい。

評価の判定		A=そう思う	B=やや思う	C=あまり思わない	D=思わない
評価項目		評 価			
		A	B	C	D
園 経 営	1.教育方針や教育目標、教育活動に関する情報提供がなされていたか。(案内や各種連絡文書、園だより、園ブログ等)	70	12		
	2.行事や活動において、保護者にその行事や活動のねらいなどを理解されるように伝えたか。	73	9		
	3.保護者、地域の方の意見を参考にして、子どもを主体とした教育の継続に努めていたか。	66	16		
	4.保護者・地域への園施設の開放を行っていたか。 (保護者打ち合わせ・園庭開放・子育てルーム等)	73	9		
	5.安全における危機管理をしていたか。 (不審者や交通安全・保健情報・避難訓練・安全管理)	68	14		
保 育 の あ り か た ・ 指 導	1.保育を参観する機会や教師と話をする場を適切に設けていたか。(懇談会・個人面談・誕生会・おしゃべりタイム・日常連絡等)	79	3		
	2.教師は、家庭と連携し、集団生活のルールや基本的な生活習慣の指導を適切に行っていたか。	70	12		
	3.教師は、思いやりや善悪の判断など、道徳性を育む指導を適切に行っていたか。	68	13	1	
	4.教師は、ひとりひとりの園児を理解し、個々の特性を伸ばす指導をしていたか。	66	16		
	5.教師は、園児とよく遊び、笑顔でどの子どもも公平に接していたか。	74	8		
	6.教師は、子どもや保護者に対して、適切な言葉づかいや対応をしていたか。 また子どものことについて相談に応じてくれたか	72	10		
特 色 あ る	元 気 な 子 1.積極的に戸外遊びや運動遊びに取り組んでいたか。 (体育指導・集団遊び・マラソン・すもう大会など)	81	1		
	2.挨拶や日常の生活習慣をしっかり身につけ、安定した園生活が送れるような環境づくりをしていたか。	78	4		
	3.保育参観や行事等で、保護者に幼児の成長がわかるように伝えたり、取り組みを伝えていたか。	77	5		
	4.健康で安全な園生活が送れるように、安全指導、保健指導に取り組んでいたか。	72	10		
教 育 活 動	感 じ る 子 1.自然や動植物との触れ合いをしながら、好奇心をいだいたり、かかわれる環境をつくっていたか。	75	7		
	2.感じたことや、思ったことを素直に言葉や身体で表現できるよう取り組んでいたか。	69	13		
	3.子どもの想像力や発想、個々の良さを認め、より発揮できるような機会や環境づくりをしていたか。	71	11		
活 動	楽 し い な か ま 1.学級・学年の友達の中で、自分を肯定しながら、友達と安心してかかわり生活できるような環境づくりをしたか。	69	13		
	2.異年齢の友達と親しみをもって、過ごしたりかかわる取り組みをしていたか。	74	8		
	3.互いを尊重し、思いやりや感謝の気持ちの育ちを学べる機会を作ってきたか。	70	12		
子 ど も の す が た	家 庭 で の よ う す 1.食事・着替え・排泄など、基本的習慣が身についたか。	69	12	1	
	2.喜んで登園し、挨拶やマナー・ルールを理解し、行ったり守ろうとしたか。	69	13		
	3.我慢することや思いやりの心、物を大切にできる態度が育ったか。	62	17	3	
	4.自分のことは自分でできるようになり、考えや思いを自分の言葉で伝えることができたか。	58	20	4	

- ・長袖、長ズボンの体操服を希望。気温によって衣服の調節をしたい。(半袖の下に長袖肌着が見えてしまうのは好ましくないと思う)
- ・いちご組は4月の時点で先生の事や、いつ頃入園前の説明、打ち合わせがあるか等知れると不安なく待てる。(説明会から日があく)
- ・日常の様子の写真がもう少しほしい。・夏場のお弁当が冷えすぎてご飯が食べられなかった。・園長先生との距離感が近く信頼が持てる。
- ・年齢相応の反抗期と赤ちゃん返り、悪いことと理解してるものの試し行動があり対応が難しかった。園で指導してほしい。
- ・全学年で運動会ができ他学年の競技も見られ 昨年は?と思い返したり来年はこんなすごいことできるのかな?と感ずることができた。
- ・毎日寝る前に「あーきょうもたのしかった」と言う。家ではできない体験、素敵な経験ができています。毎朝の園周りの清掃のお陰で気持ちよく送迎できる。・先生方が子どもの細かなところまでよく見て愛情深く丁寧に接してくれ、安心して預けられる。